

# 子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動  
参加園月例会報  
(2016年7月号)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081  
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「J P子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



事務局の“どんぐり”も夏対策

実効性のある防災の仕組みは、普段（不断）の準備から構築されます。  
今月号は、そんな防災研修講座のご提案です。

## (目次)

1. JP子どもの森づくり運動「東北ブロック」防災研修会レポート
2. 「災害時相互支援協力協定」正式締結
3. JP子どもの森づくり運動 活動レポート
4. 事務局からのお知らせ
  - 新・どんぐり博士の育苗講座（2016年7月号）

### ■「J P子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「J P子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

### ■「J P子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運 営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力
 

(公社) 全国私立保育園連盟	(公社) 大谷保育協会
(公社) 国土緑化推進機構	NPO法人C・C・C 富良野自然塾
(一社) 日本森林インストラクター協会	NPO法人自然体験活動推進協議会
NPO法人MORIMORI ネットワーク	(一社) 日本オート・キャンプ協会
(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部	保育環境研究所ギビングツリー



## 1. JP子どもの森づくり運動「東北ブロック」防災研修会レポート

- 開催日：2016年5月22日（日）14:00～16:00 ○会場：山田町中央公民館  
 ○主催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク ○共催：社会福祉法人三心会 ○協力：山田町  
 ○特別協賛：日本郵政グループ ○参加者：岩手県山田町、宮古市、及び全国参加園職員 約70名

東日本大震災、さらに熊本地震と大きな災害が続き、今や、幼稚園、保育園、こども園における防災対策は待たなしです。そんな状況をふまえて、事務局では今年度、参加園サポート活動の一環として、防災研修会の開催を推進しています。その第一弾として、5月22日（日）に、「東北復興グリーンウェイ」の活動拠点である岩手県山田町において、東北ブロックの防災研修会が開催されました。テーマは、“本当に子どもの命を守るための”防災の仕組みづくりです。講師は、リアルな防災講座で今、全国的に注目されている消防庁防災アドバイザーの鎌田修広さんです。（写真：研修会風景）



鎌田講師の防災講座は、とにかく実践的です。講座のほとんどの時間、参加者はグループ単位で、どうしたら子どもたちの命を守れるかを主体的に考え、徹底的にディスカッションし、様々な気づきを促されます。さらに、災害時にもっとも必要とされるチームに対する信頼感を育成するプログラムも実施され、講座が終わる頃には、参加者全員が見事に一つのチームとしてまとまります。

JP子どもの森づくり運動の防災講座には、「東北復興グリーンウェイ」の活動の中で、「東日本大震災」の被災地の人達から学んだ防災の心が反映されています。事務局では、今後もこのような防災研修会を積極的に全国展開したいと考えており、現在、主催園を募集中です。ご興味のある方は、是非、お問合せ下さい。なお、JP子どもの森づくり運動参加園が主催する防災講座に関しては、講師料は事務局負担とさせていただきます。

## 2. 「災害時相互支援協力協定」正式締結

山田町の防災研修会において、JP子どもの森づくり運動が提案する防災に関する新しい取組みである「災害時相互支援協定」第一号の締結式が行われました。当日は、山田町第一保育所（岩手）、春明保育園（東京）、若久青い鳥保育園（福岡）の三つの園の園長、施設長、理事長が参加して、協定締結がお披露目されました。本協定は、災害という緊急時には、三つのトライアングルの関係がもっとも実効性のある協力関係となるという、鎌田講師のご提案に基づいた仕組みです。事務局では、今後も、相互支援の関係づくりを積極的に推進してまいります。

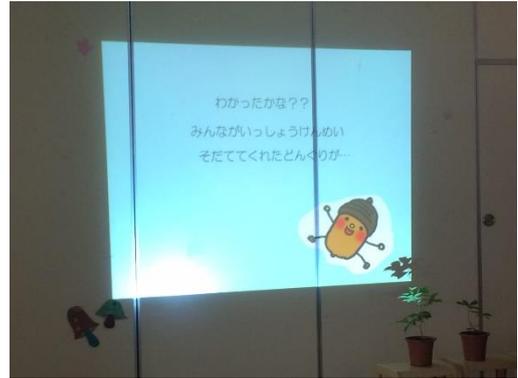


### 3. JP子どもの森づくり運動 活動レポート

#### ●東京都「新宿せいが保育園」 東北復興グリーンウェイブ 苗木を見送る会

・日時：2016年5月9日（月）・場所：自園・参加郵便局：落合郵便局 松本局長

\* 副園長先生のお話、松本局長さんのお話、どんぐりシアター、絆ボックスに苗木を詰める、苗木の見送り



#### ●広島県「春日野まごころ保育園」 東北復興グリーンウェイブ 苗木を見送る会

・日時：5月11日（水）・場所：自園・参加郵便局：安佐南郵便局

どんぐりの苗を送り出しました。くもり空でしたが、園庭に全員集まって、どんぐりえがお♪ダンスを踊りました。

まだ、振り付けができない子どももいましたが、未満の子も楽しく踊っていました。

安佐南郵便局からは集配車に来てもらって、送り出すことができました。



#### 4. 事務局からのお知らせ

JP子どもの森づくり運動がお送りする研修講座のご案内です。参加申し込み、ご不明な点は事務局までお問合せ下さい。

##### 1) JP子どもの森づくり運動 自然体験講座『～家族で楽しむ～ ナツオワ（夏の終わり）キャンプ2016』のご案内

JP子どもの森づくり運動がお送りする森育プログラムの夏の企画です。富士河口湖町にある「河口湖森と湖の楽園」においてファミリーキャンプを企画しました。夏の終わりに家族で河口湖の自然を体感するキャンプをしませんか？

- 会場：山梨県南都留郡富士河口湖町小立5606「河口湖森と湖の楽園」
- 実施日：2016年8月27日（土）、28日（日）
- 参加費  
大人（高校生～大人）お一人4,000円 子ども（小学校～中学校）お一人3,000円  
\* 未就学児無料 \* 詳細はホームページにて案内中。



##### 2) JP子どもの森づくり運動 関東ブロック 環境学習研修会のご案内

21世紀の環境の時代を生きていく子どもたちにとって必須の環境意識を育ててもらうためには、子どもたちと最前線で接する保育園・幼稚園・こども園の職員に、環境に関する高い問題意識を持ってもらうことが必要です。そこで、地球環境の変遷と環境問題を五感を通じて体感するという国内最先端の環境教育プログラムを実施している「富良野自然塾東京校」とのコラボレーションによる環境学習研修会を企画しました。めったにない機会です。是非、ご参加願います。

- 会場：東京都立川市緑町3173 国営昭和記念公園内「富良野自然塾東京校」
- 実施日：2016年9月24日（土）13:00～
- 参加費：お一人2,500円（受講料・入園料・保険料込）
- 募集対象：幼稚園・保育園・こども園の職員および関係者



##### ●新・どんぐり博士の育苗講座（2016年7月号）～夏・園児の水やりについて～

せっかく園で苗を育てているのですから、園児に関わりを持たせたいものです。そこで、苗への水やりを園児に任せようとなります。しかし、根腐れの心配もあり、単純に毎日では行えません。結局、水やりは先生がと言う園が多いのではないのでしょうか。どんぐり博士：河内和男（「子森ネット」森林インストラクター）



この原稿の執筆時点では、驚いたことに東日本の多くでまだ梅雨が明けていません。

梅雨が明けて暑い晴天が続く7月末から8月は、毎日水やりが必要（雨が降らない限り）な季節です。つまりこの時期は、園児達に水やりの機会を与えるのに良い時期だと言えます。しかし、この季節の水やりには、根腐れとは別の注意点があります。それは、盛夏の炎天下で水やりするのは良くないということです。気温が高く強い日差しの中で水をやると、与えられた水が高温になり、植物が蒸されてしまうためです。ですので、盛夏の水やりは早朝か夕方にするのが推奨されています。これではやはり園児達の水やりは実現できません。

そこで、苗を置く場所を工夫してみましょう。

強い日差しが遮られ、風通しが良く湿度や熱がこもらない場所なら、日中でも水やりができます。つまり、水を与える時刻からしばらく日陰になり、風通しの良い場所に苗を置けば、水をやる時刻を調整できるわけです。最適なのは、やはり大きな樹の木陰です。木陰ほど風の通る日陰は無いですね。

以上のような条件に叶う場所が有りましたら、ご検討ください。猛暑対策にも成ります。ただ日陰であっても、水やりは午前中に済ませる方が良いです。